

# 検体の採取方法

- クラミジアトラコマチス PCR
- 淋菌 PCR
- トリコモナス/マイコプラズマ・ジェニタリウム (TV/MG) 同時核酸検出

キット写真



※QU・QS・QIはすべて同一容器となります。

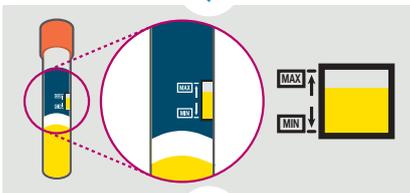
## 初尿 (容器：QU)

- クラミジアトラコマチス PCR 尿
- 淋菌 PCR 尿
- トリコモナス/マイコプラズマ・ジェニタリウム (TV/MG) 同時核酸検出 尿



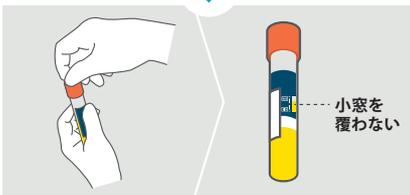
**注意：検体採取前の少なくとも1時間は排尿していないことを確認してください。**

患者は採尿カップを用いて初尿（排尿し始めの尿）20～30 mLを採取します。  
検体採取ピペットを用いて採尿カップから初尿を分取します。



検体チューブ内の検体輸送用緩衝液をこぼさないように注意して、キャップを回して開けます。検体チューブとキャップは、内側も外側も汚染しないよう注意して取り扱い、必要に応じて手袋を交換してください。

尿の液面が検体チューブのラベルにある透明な小窓に収まるように、検体採取ピペットを用いて採尿カップから検体チューブに尿を分取します。**適量でない場合、採尿カップから新たな検体チューブへの分取が必要となります。適量を超えないように分取してください。**

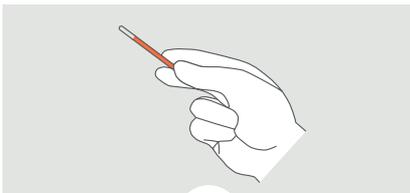


検体チューブのキャップを注意して閉めます。液漏れしないよう、キャップがきつく閉まっていることを確認してください。

**検体ラベルを貼付する場合は、検体チューブの小窓を覆わないようにしてください。**

## 子宮頸管スワブ (容器：QS)

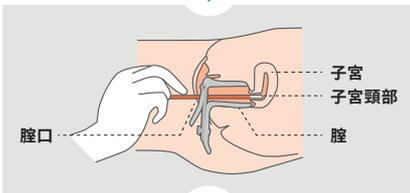
- クラミジアトラコマチス PCR 分泌物
- 淋菌 PCR 分泌物
- トリコモナス/マイコプラズマ・ジェニタリウム (TV/MG) 同時核酸検出 分泌物



**注意：採取前のスワブに検体輸送用緩衝液を付着させないでください。**

過剰な粘液が検体に含まれると正確な結果が得られない場合や検査不能となる可能性があります。必要に応じて、ご施設で使用されている綿棒で粘液等を取り除いてから検体を採取してください。

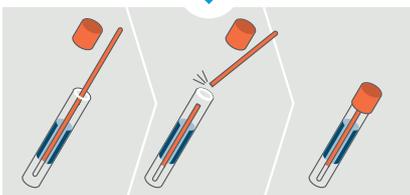
内部包装から滅菌済みスワブを取り出します。取り出した後、スワブの白い綿球部分を周囲に接触させない、または置かないように注意してください。



スワブの白い綿球部分を、子宮頸管に挿入してください。

適量の検体採取を行うため、**スワブを15～30秒間穏やかに回転させてください。**

その後、慎重にスワブを取り出してください。



検体チューブとキャップは、内側も外側も汚染しないよう注意して取り扱い、必要に応じて手袋を交換してください。

検体チューブのキャップを回して開け、直ちにスワブの白い綿球部分を下に向けて検体チューブ内に入れ、検体輸送用緩衝液がはねないようにするため、柄の切り込み線でスワブを慎重に折ります。

最後に、検体チューブのキャップを液漏れしないようきつく閉めてください。

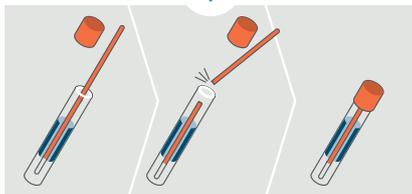
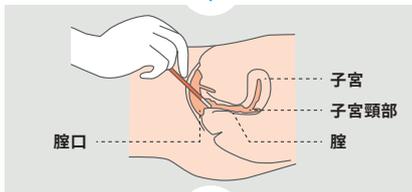
### (注意事項)

検体採取後の保管温度：2～30℃

※検体チューブには1.35mLの検体輸送用の緩衝液が入っています。**採取後、溶液をこぼさないようにご出検ください。**

## 膣スワブ (容器: QS)

- クラミジアトラコマチス PCR 分泌物
- 淋菌 PCR 分泌物
- トリコモナス/マイコプラズマ・ジェニタリウム (TV/MG) 同時核酸検出 分泌物



**注意:** 採取前のスワブに検体輸送用緩衝液を付着させないでください。

過剰な粘液が検体に含まれると正確な結果が得られない場合や検査不能となる可能性があります。必要に応じて、ご施設で使用されている綿棒で粘液等を取り除いてから検体を採取してください。

内部包装から滅菌済みスワブを取り出します。取り出した後、スワブの白い綿球部分を周囲に接触させない、または置かないように注意してください。

スワブの白い綿球部分を、膣口から約 5 cm 挿入します。その際、膣の外側にある皮膚や陰唇に触れないようにしてください。

**膣の側壁に沿って、スワブを 15 ~ 30 秒間穏やかに回転させてください。**

その後、慎重にスワブを取り出してください。綿球部分が膣の外側に触れないようにしてください。

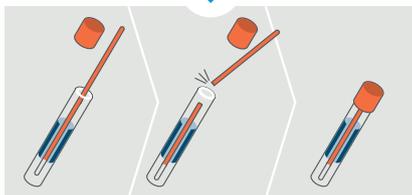
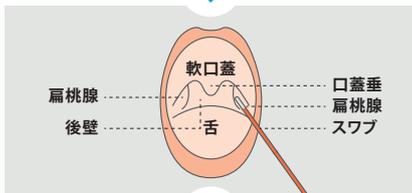
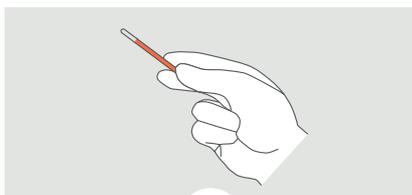
検体チューブとキャップは、内側も外側も汚染しないよう注意して取り扱い、必要に応じて手袋を交換してください。

検体チューブのキャップを回して開け、直ちにスワブの白い綿球部分を下に向けて検体チューブ内に入れ、検体輸送用緩衝液がはねないようにするため、柄の切り込み線でスワブを慎重に折ります。

最後に、検体チューブのキャップを液漏れしないようきつく閉めてください。

## 中咽頭スワブ (容器: QI)

- クラミジアトラコマチス PCR 咽頭擦過物
- 淋菌 PCR 咽頭擦過物
- (膣トリコモナスおよびマイコプラズマ・ジェニタリウムの検出は確立されていません)



**注意:** 採取前のスワブに検体輸送用緩衝液を付着させないでください。

内部包装から滅菌済みスワブを取り出します。取り出した後、スワブの白い綿球部分を周囲に接触させない、または置かないように注意してください。

スワブの白い綿球部分を各口蓋扁桃と後壁にこすりつけ、舌からは検体を採取せずに少なくとも 1 回回転させる必要があります。

**咽頭滲出液がある場合、これも採取する必要があります。**

その後、慎重にスワブを取り出してください。

検体チューブとキャップは、内側も外側も汚染しないよう注意して取り扱い、必要に応じて手袋を交換してください。

検体チューブのキャップを回して開け、直ちにスワブの白い綿球部分を下に向けて検体チューブ内に入れ、検体輸送用緩衝液がはねないようにするため、柄の切り込み線でスワブを慎重に折ります。

最後に、検体チューブのキャップを液漏れしないようきつく閉めてください。

### (注意事項)

検体採取後の保管温度: 2 ~ 30°C

※検体チューブには 1.35mL の検体輸送用の緩衝液が入っています。採取後、溶液をこぼさないようにご出検ください。

Alinity m マルチコレクト検体採取キット 電子添文より引用・改変 (詳細は電子添文をご参照ください。)